

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年3月13日

事業所名 児童デイサービス・アニマートうるま安慶名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	3	1			スペース的には問題ないが、クールダウンが出来るス ペースも設けていけたらと考える。
	2	職員の配置数は適切である	1	1	2		活動の面では問題ないが、児童一人一人と関われる 時間を設けたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている		1	3		現在は対象となる児童がいない。だが、今後手すり等 の設置が必要と考える。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる		2	2		一部の職員のみ実施している。今後、職員全員で把握 していきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている		2	2		今後、実施していきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している			4		今後、実施していきたい。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている			4		今後、実施していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	1	2	1		事業所内の勉強会及び県内での研修会に参加してい る。
適切 な支 援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	1	3			月1回、モニタリングを通して行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	1	1	2		
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	3	1			月1回、従業員みんなで話し合いをしてプログラムの作 成や見直しを行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	3		1		重要と考える活動や訓練等は固定化しており、その他 のレク活動は工夫してプログラムを作成している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	3		1		その日だけの取り組みで終わらせないように継続性の あるレクを実施している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	2		2		時間的な問題はあるが、個別と集団活動にメリハリを つけて啓作を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	2	2			毎朝のミーティングを実施し確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	3	1			毎日の振り返りを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	1	3			毎日の記録を取っている。だが、全職員での共有が 出来ていない。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デ イサービス計画の見直しの必要性を判断して いる	3		1		毎月モニタリングを実施している。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	1	2	1			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	1	1	児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	2	2		計画や行事等の連絡は行っている。だが、日々の引継ぎを行う学校と行えない学校等がある。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		3	1	対象となる児童がいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	1	2	月1回、市内の事業所により連絡会を通して情報共有を行っているが、保育園等の関りは少ない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		3	1	対象となる児童がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			4	今後実施していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		2	2	頻繁ではないが、地域の児童クラブや児童センターの活動に参加している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	1	1	月1回、市内の事業所により連絡会に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	1		連絡帳にて活動内容の記載を行う。また、送迎時に顔を合わせて状況報告を行っている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	2	1	保護者全体に支援を行い、必要である世帯には引き続き継続した支援を行っている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3		1	契約時は勿論、活動内容や利用者への協力を求める際には文面も添えて説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	1	1	日々の連絡帳を活用して助言等をさせていただいている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		2	2	今後、予定している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	1	2	1	保護者からの苦情は現段階ではない。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	2	1	毎月の活動予定は発信しているが、会報については今後実施していく。
	35	個人情報に十分注意している	4			書類等は鍵付書庫内にて保管等をしている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3		1	連絡帳や送迎時に顔を合わせて疎通を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている		1	3	招待する機会はない。今後、実施していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	1	2		職員では周知しているが、保護者への周知については今後実施していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2		2		年に2回訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	1	1		毎年、虐待防止により研修会に参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		3	1		対象となる児童はいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	1	2		指示書までは頂いていない。が、アレルギーの対策は行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	1	1		定期的に報告を行っている。